

表題:横浜作業療法の研究 ←MSP ゴシック 14pt, 行間 20pt 中央揃え

サブタイトル ←(必要な場合)MSP ゴシック 11pt, 行間 16pt 中央揃え

○横浜太郎*, 港花子** ←演者に○, *(上付き)で所属を示す。MSP ゴシック 10.5pt, 行間 16pt, 中央揃え
*みなとみらい病院リハビリテーション科, **横浜保健大学作業分析学部 ←所属の書式は上記氏名と同じ

1. はじめに (小見出しは MSP ゴシック 10pt, 行間 15pt)

抄録は A4 サイズ 1 ページで, 余白は上 20mm, 下・左・右は 20mm とすること。

2. 表題

表題は 1 行に収まらない場合は 2 行にわたり記入すること。サブタイトルが無い場合は, 該当行を空行とすること。

3. 演者と所属

演者・所属が 2 行となってもよい。ただしタイトル・演者・所属があわせて 7 行以内になるように注意すること。

4. 本文の書き方

4.1 書式

本文のフォントは, 全角文字は MSP 明朝, 半角英数字は Times New Roman とし大きさは 10pt, 行間 15pt とする。また, 本文エリアは 2 段組, 左揃えとする。本文の文字数は表題氏名所属を除いて片断 20 字×40 行×2 列=1600 字程度となるようにすること。

句読点は「,」「.」とする。

4.2 図の挿入方法

図を挿入する場合, 図番とタイトルを中央揃えで図の下に(見出しと同じ書式とする:MSP ゴシック 10pt, 行間 15pt)記載すること。



図 1. 本研究の図

写真のサイズ(容量)やコントラストはあらかじめ調整し, ファイルサイズが大きくなりすぎないように注意すること。またカラーの図であっても, 印刷ではモノクロとなる。

また図の挿入は片段ずつの挿入に限り, 両段にまたがる挿入は認めない。

4.3 表の挿入方法

表を挿入する場合, 表番とタイトルを中央揃えで, 表の上に(見出しと同じ書式:MSP ゴシック 10pt, 行間 15pt)で記載すること。

また表の挿入は片段ずつの挿入に限り, 両段にまたがる挿入は認めない。

表 1. 本研究の表

A	B	C
4.21±0.21	0.4±2.1	20.12±0.12
4.21±0.21	0.4±2.1	20.12±0.12

5. 参考文献の書き方

本文中の引用箇所には, 文章の右肩に小括弧を付した番号¹⁾, を記入し, 本文末尾に番号順に記載すること。

参考文献

- 1) 港花子:まちづくりにおける作業療法士の役割, みなと作業療法研究誌, Vol.31, No.14, 429-432, 2014
- 2) 潮風みらい:“今ここで”のかかわりを活かすリハビリテーション, 横浜未来リハビリテーション学会誌, Vol.22, No.3, 54-58, 1998
- 3) ...

(筆頭著者のメールアドレスが個人のプライベートアドレスの場合は任意です。)

↓

横浜太郎 (筆頭著者の所属連絡先です)
みなとみらい病院リハビリテーション科
〒220-8600 神奈川県横浜市中区みなとみらい○-○-○
e-mail : taro-minatomirai@---.ne.jp
TEL : 045 (641) **** (直通)